

勤労者のための生活応援バンク〈中国ろうきん〉は、「金融事業を通じた社会貢献活動」にも取り組んでいます。



助け合いプラン「安心パック」

「安心パック」とは、「助け合い積立」を実施している労働組合の構成員さまが、〈ろうきん〉の特別な融資サービスを利用することができるプランです。2014年から行っているこの「安心パック」により、勤労者のための協同組織金融機関として、会員・推進機構との強力な連携・協働のもと、団体主義と個人のニーズを融合させ、勤労者の生活向上のための金融仲介機能を継続的に果たしてまいります。

助け合い制度

〈ろうきん〉の原点である「助け合い精神」に基づき、2006年度より会員勤労者およびその家族を守り、地域社会に貢献する諸施策の充実を目的として実施しています。

- リトライ融資制度
 - 多重債務の整理
 - 育児休業、介護休業期間中のローン元金据置制度
 - 福祉ローン
 - 災害救援ローン
 - 生活支援策
- (生活・雇用応援ローン、勤労者生活支援特別融資制度、求職者支援資金融資制度、生活支援緊急ローン、技能者育成資金融資制度)

企業年金に係る役割発揮宣言

企業年金を取り巻く環境は、積立不足の問題や会計基準の変更、マッチング拠出の開始など大きく動いており、労働組合に求められる役割も一層大きくなってきています。〈ろうきん〉は労働組合の退職金・企業年金を守る取組み、さらには組合員の生涯生活設計をサポートするために、情報提供、研修会の開催、加入者教育等を実施しています。

家計の見直し運動

家計の見直しによる可処分所得の向上を生活応援運動の柱として通年で取り組んでいます。ご利用中のローンの返済計画の見直し、借換えによる返済負担の軽減に向けた融資相談、提案活動を行っています。また、多重債務未然防止のための啓発活動を行い、多重債務からの生活再建にも取り組んでいます。

● ROKIN HISTORY

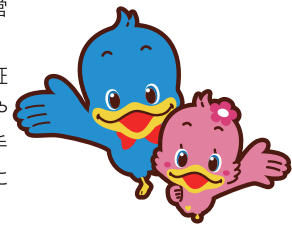
第二次大戦後の経済・社会が混乱していた時代、銀行といえば企業のためのもので、働く人たちは高利貸しや質屋に頼らざるを得ない状況でした。このような深刻な社会背景のなかで、自らの手で生活を守る必要性を感じた労働運動・生活協同組合運動などの自主的な福祉運動から〈ろうきん〉は誕生しました。1950年に全国初の〈ろうきん〉が岡山・兵庫に誕生し、それからわずか5年の間に46都道府県に設立されました。(中国地方では、1951年に広島県、1952年に山口県、1953年に山陰に設立)。そして、2003年には中国地方の4労働金庫が合併を行い、〈中国ろうきん〉を設立。会員と勤労者、そして社会に貢献できる福祉金融機関として、今も取組み続けています。

● ろうきんの理念

〈ろうきん〉は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
〈ろうきん〉は、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
〈ろうきん〉は、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
会員は、平等の立場で〈ろうきん〉の運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
〈ろうきん〉は、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

● 非営利の金融機関

〈ろうきん〉は協同組織金融機関であり、非営利が事業運営原則のひとつになっています。会員への出資配当のほか、住宅ローン保証料や団体信用生命保険料のろうきん負担や繰上げ返済手数料の無料化、自動機利用手数料キャッシュバックサービスでご利用者に還元しています。



編集後記

情報誌「R・ism (vol.11)」発行にあたり、ご協力いただきましたみなさまへ感謝を申し上げます。

〈中国ろうきん〉では、本誌に記載のNPO支援の取組みや、社会貢献活動を通じて、みなさまへ“夢と共感”をお届けできるよう各種取組みを行っております。引き続き〈ろうきん〉のネットワークを活かし、みなさまと共に社会貢献活動に取り組んでまいりたいと思いますので、ご支援とご協力をお願いいたします。R

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

〈ろうきん〉は、良質な金融商品・サービスの継続的な提供を通じて、全ての勤労者やその家族が生涯にわたり安全・安心・豊かに暮らせる社会づくりを進めます。

みんなのHappyがつながるコミュニケーションマガジン

R・ism vol.11

2022年6月1日発行

発行：中国労働金庫 発行責任者：瀬光 秀昭

〒732-0827 広島市南区稲荷町1-14 TEL082-568-8027 FAX082-261-0842

※本誌からの無断転載、転写は固くお断りします。